

ふきのとう

2006
秋号
No.016

次代の医療を担う 研修医!!

卒後臨床研修とは、大学卒業後2年間、適切な指導體制の下で医師としての人格をかん養し、患者を全人的に診ることができる基本的な診察能力を修得することを目的として行われています。

当院でも、平成16年度から臨床研修指定病院として研修医を受け入れており、今年度は5名の医師を受け入れております。研修医は、先輩医師や看護師からセミナーや実技をとおして、日々たくさんの知識や技術を修得しています。



(小泉医師)



(富永医師)



(向井医師)



(松川医師)



(田上医師)

放射線科の紹介

放射線科 畠山 重 春

皆様には、レントゲンなどでおなじみの放射線科は、知っているようで、意外に「よく分からない?」「何となく怖い感じがして近づきがたい」こんなイメージを持たれているのかもしれませんが、そこで私たち放射線科の中身を、皆様により理解してもらう為、少し紹介していこうと思います。



N 最初にスタッフの紹介をいたします。

放射線科では医師2名、看護師3名、技師14名、事務員4名 合計23名のスタッフが働いております。

放射線科科長は松平直哉先生で、IVR専門医の資格を有し、画像診断歴及び放射線治療歴が20年以上の経験が有ります。

一方平野義則先生はRI専門医であり、10年以上の画像診断歴、IVR歴が有ります。

診療放射線技師は14名ですがその内3名が女性で構成されております。

当放射線科は、秋田県でもいち早く乳房検診(マンモグラフィ)の「質の向上」取組み、秋田県第1号で乳房撮影に於ける施設認定(A)を受けております。

それと同時に現在までに8名の技師が、乳房撮影指導者講習を受け、その内2名の技師が秋田県での乳房検診の指導者として後輩の教育を担当しております。

看護師は、放射線治療のケアなどの講習を受け、日常業務に生かしております。

現在これらのスタッフで年間約6,500件の検査や治療などを行い、フィルムは約15万枚使用しております。

N 放射線科といえば、沢山の装置が動いていますが、皆様に「放射線治療装置(リニアック)を紹介いたします。

この装置の役目は、主に腫瘍の治療のため用いられています。

装置の特徴は.....

平成16年の1月に更新された最新式の放射線治療装置治療です。

この装置は、とても正確に腫瘍に放射線を照射することができます。

正常な組織にはわずかな放射線しか当たりませんので、とても副作用が少なく患者様に優しい放射線治療装置なのです。

秋田県にはもちろん、東北地方にもこの最新式の装置は数台しか稼動していません。

N なぜこんなに素晴らしい事が出来るのか?

答えは、「装置の写真を見てください。この装置は、CT装置と治療装置が合体している装置なのです。CT装置で、腫瘍を確認してそのまま、治療が出来るのです。」

治療に当たっては、放射線治療歴20年以上の放射線科科長である、松平先生が、副作用がとても少ない放射線治療の計画作成に頑張っています。

① 放射線治療装置概観(向って左に見えるのがCT装置です)



婦人科がん検診をうけていますか？

秋の検診が始まります。今年の4月に当院産婦人科に赴任された高橋道先生から「婦人科のがん」について説明していただきます。



高橋道先生

自己紹介

市立秋田総合病院に赴任してまいります前は、秋田大学附属病院産婦人科に13年間勤務し、婦人科がん（子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん）の手術と抗がん剤治療を中心に診療していました。

これまでは、秋田県全体の婦人科がん罹患した方が対象でしたが、これからは、より地域に密着した医療を展開していきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

疾患別がんの罹患率は、あらゆる種類のがん腫で欧米化しています。少子少産化、食生活の欧米化、肥満など、さまざまな理由が考えられています。婦人科がんにおける傾向も例外ではなく、子宮体がん・卵巣がんが著しく増加してきています。子宮頸がんの罹患率は減少傾向にあります。その死亡率は低下していません。卵巣がんの多く（60%以上）は、がん発見時に既に進行がんの状態になっています。がんが進行するまで症状が現れにくいからです。検診で、早期にがんを発見し、早期に治療することが大切です。欧米における婦

人科がん検診の受診率は80%を超えています。日本ではせいぜい30~40%の受診率です。日本では、生命保険料が検診受診の有無で変わらないのに対し、欧米では、検診未受診者の保険料の支払いが高額に設定されていることもその理由のひとつです。

がんを予防することはなかなか困難ですが、検診でがんを早期に発見することは多くのがんにおいて可能です。自分のからだは自分で守らなければなりません。みなさん、検診をうけましょう。

婦人科検診のご案内



当院では、婦人科のガン検診を実施しております。総合案内、または産婦人科看護師にご相談ください。（人間ドック受診時における子宮ガン検診については事前にお申し込みください）

検査内容：内診、子宮頸部細胞診

患者さんの状態によっては検査内容が変わることがあります。

問い合わせ先：産婦人科外来または医事課検診担当

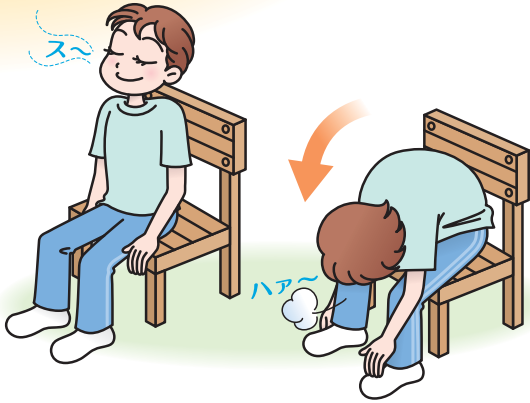
電話番号：018-823-4171（内線3330、2162）

ストレッチで リラックス

座ったままでできる簡単なストレッチ体操はいかがですか？
反動をつけずに痛みのでない範囲で、ゆっくり体をほぐしてみましょう。
息を止めずにおこなうのがポイントです。

背中と腰を伸ばす運動

- ①イスに浅く腰かけて脚を開き、背中を伸ばし、息を深く吸い込む。
- ②息を吐きながらゆっくりと上半身を曲げ、ゆっくりと戻す。



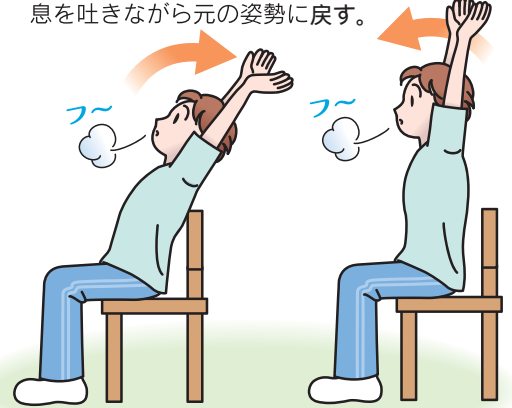
体をねじる運動

右足を左足の上に組んで、
上体をゆっくり右側へねじる。
反対側も同様に。



体の前面と背中・腰を伸ばす体操

- ①イスに深く腰掛け、背中・両腕・肘を充分に伸ばす。息を吐きながら上半身をゆっくり後ろに反らせていく。
- ②後ろに反らせた姿勢を息を止めずに保ち、息を吐きながら元の姿勢に戻す。



基本検診のご案内



40代になるころから増えていく生活習慣病は、生活習慣の積み重ねにより、自分では気がつかないうちに病気になるやすい状態になってしまい、発病してしまうものです。健康で明るい生活を送るために、ゆっくりとした気持ちで健康診断を受けましょう。

当院では、9月1日より基本検診を行います。事前予約（電話予約）が必要となります。下記問い合わせ先までご連絡ください。

実施期間 9月～10月

対象 秋田市に住居登録し、平成19年3月31日までに40歳以上になる方

検診内容

基本検診：問診、診察、尿検査、眼底検査、
心電図検査他 料金 2,200円
大腸がん検診：問診、便の潜血反応検査 料金 1,300円

下記検診には受診の対象がありますので電話でご確認ください。

前立腺がん検診：問診、血液検査 料金 1,500円
肝炎ウイルス検診：問診、血液検査 料金 1,200円
乳癌検診：マンモグラフィー撮影、問診、視触診
(40代) 料金 2,500円
(50代) 料金 2,000円
子宮癌検診
問診、子宮頸部細胞診 料金 1,600円

電話予約受付：8月23日(水)から平日午後3時～4時
問い合わせ先：事務局医事課 018-823-4171

市立秋田総合病院

理念

市立秋田総合病院は、すべての人々の幸福のため、良質で安全な医療を提供し続けることを目指します。

基本方針

患者さんに信頼されるあたたかい、心の通い合う医療を行います。

多様化する医療への要望に応えるために、常に医療水準の向上に努め、地域の中核病院としての役割を果たします。

患者さんの権利や意思を尊重し、十分な診療情報の提供と相互理解に基づく医療を行います。

医療の安全のさらなる向上に努めます。

良質な医療を提供していくために、健全な病院経営を目指し、業務の改善と効率的な運営に努めます。